

平成29年第1回定例会が開会

新年度予算に重点要望が多数反映！
高橋かつとも議員とともに
地方創生を進める自民党議員団

平成29年第1回定例会市議会は2月21日開会し、3月30日までの会期となりました。秋元克広市長は、所信表明で「契約の不適切処理、職員逮捕などで市民の信頼を損ねた。市民が感じることを敏感に受け止め、スピード感をもって市政を進めたい」と述べ、子育て支援や経済対策に重点配分した新年度一般会計予算案など、議案58件を提出しました。新年度予算には、高橋かつとも議員が所属する札幌市議会自民党議員団が重点要望した「3歳未満の第2子の保育料無料化」「不育症の治療費助成」「女性の活躍推進に向けた有識者会議の設置」などの政策が多数盛り込まれました。



主な代表質問項目と答弁内容

● 財政問題について

【質問】平成29年度予算において、今後の雇用の受け皿につながる建設事業費の確保方策と経済活性化の取り組みを伺う。

【答弁】今後も中期財政フレームに基づき予算編成を行い、アクションプランに掲げる目標達成に必要な事業費を計上し、さらに新たな産業創出・育成を推進するほか、国内外からの人を呼び込むための、観光活性化策の充実を図りたい。

● 今後の都心整備について

【質問】冬季五輪招致、札幌駅周辺の再開発、MICE施設や博物館、バスターミナルの再編、地下歩行ネットワークの構築、市役所本庁舎及び中央区役所整備など、今後の都心整備の考え方と進め方を伺う。

【答弁】第2次都心まちづくり計画の目標

を実現するため、札幌駅交流拠点における一体的な再開発をはじめ、災害時もエネルギーを供給できる体制の確立や高水準のオフィス環境の形成を進めるとともに、一方で都心における市有地の利活用について、民間活力の導入を基本に財政負担の平準化を図りたい。



● 日本ハム新球場建設構想について

【質問】札幌市内での新球場建設に向けた候補地選定と進捗状況について伺う。

【答弁】札幌市としては市内で建設してもらうのが望ましいと考えており、公共交通の利便性が高く、周辺道路環境や周辺住環境への影響など、重要な視点に立って複数箇所の候補地を検討・協議しており、調整が整い次第提案したい。

● 女性の活躍促進について

【質問】新年度予算の3本柱の一つに「女性の活躍推進」を取り上げているが、この取り組みを通じて、どのようなまちを目指す考えか伺う。

【答弁】札幌は女性の割合が高いが、他の政令市に比べ有業率が低く、女性の社会進出が進んでいないと認識しているため、これまで以上に女性の視点を活かした施策に取り組み、それぞれの希望に応じて活躍できる心豊かな明るい未来を描けるまちを目指したい。



● 高齢者の就労支援策について

【質問】高齢者の社会参加の意識調査結果を受け、高齢者の多様な働き方の環境整備が必要なことから、実効性のある高齢者の就労支援策について伺う。

【答弁】高齢者の就労は、就業サポートセンターでの求人開拓をはじめ、資格取得や職場体験等を通じた支援を行っており、今後も生涯現役社会の実現に向け、一人ひとりのニーズに応じた支援策をワンストップで提供できる仕組みなど、総合的な支援体制を検討したい。

● 丘珠空港と交通アクセスについて

【質問】「丘珠空港の利活用に関する検討会議」の結果を受けた具体的取り組みの進め方と、都心アクセス道路のアンケート結果の受け止めと今後の検討について伺う。

【答弁】空港を取り巻く環境の変化などを

整理し、空港施設や運用面での制約要因等の調査・検討を行い、平成29年度末までに結果を公表し、議論を進めたい。都心アクセス道路は、日々の暮らしの利便性向上や観光振興など、幅広い効果が期待できる一方、事業費への懸念もあることから、検討会における道路の概略構想案の検討などにも反映させ、より具体的に進めたい。

● 除排雪事業の充実について

【質問】少子高齢化を迎える中で、今後の生活道路の除排雪のあり方について伺う。

【答弁】生活道路の除排雪は、地域と行政が役割分担し、協働で行う取り組みとして定着していることから、この体制を維持するとともに、排雪支援制度を今後も安定的に運用していけるよう検討したい。

【質問】将来的に担い手不足が懸念される地域の流雪溝の管理の対応策と、市長公約である大規模融雪槽の整備についての進捗状況を伺う。

【答弁】流雪溝は、施設の維持管理を行う札幌市と、地域で投雪を行う管理運営協議会に加入している沿線住民が協力して運用しているものであり、今後も緊密に連携し取り組みたい。大規模融雪槽は、雪堆積場を補完する施設として大変有効であり、熱源や周囲の環境などの課題を踏まえ候補地の選定を行っている。

【その他の質問】

- 観光振興
- 若者が定着するまちづくり
- 医療分野の産業集積と第4次産業革命
- 冬季アジア札幌大会の成果
- スポーツコミッション
- 市民スポーツの振興
- 子育て支援(放課後児童クラブの過密化解消、子育て支援の質の向上)
- 生活保護
- 教育(キャリア教育の充実、アスベスト問題)

山口県周南市 水素ステーション視察

札幌市では市温暖化対策推進計画を策定し、燃料電池自動車(FCEV)の普及を目指しています。このたび、先進都市である山口県周南市の水素利活用を取り組みを視察し、FCVトヨタ「MIRAI」に乗車、水素ステーションの整備状況などについて説明を受けました。札幌市では2030年度のFCV3000台導入、水素ステーション4カ所以上の設置を目標にしています。今後も温暖化対策にしっかりと取り組んでまいります。



山口県周南市にて水素活用計画について説明を受ける



周南市水素ステーションを視察



水素を燃料とする電気自動車「トヨタMIRAI」に試乗